

第 35 回(令和 6 年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)

「読取り通訳試験」問題 要旨

第 1 問

【場 面】ろう者協会の教養講座

【テーマ】「帰納法で考える」

最近、姉は友人からのすすめで、1袋2万円のサプリを定期購入し始めました。月2袋ずつ届くので、1ヶ月あたり4万円もします。パンフレットには、シミが消えたとか、顔の皺しわが目立たなくなったなどの感想が書かれており、姉は自分も美肌になれると言うのです。

このように、個々の例を普遍化することを帰納法と言いますが、中には期待する効果が得られない人や逆効果の人もあるかもしれません。姉が美肌になるかどうかはわかりません。つまり、帰納法による法則が絶対的な真理ではなく、例外があることを知っておかなければなりません。このことをいくら姉に話しても聞く耳を持ってくれないので、飲む飲まないは本人が判断すれば良いと思っています。来月は「演繹法」について勉強します。

第 2 問

【場 面】娘(聴者)の担任との面談

【内 容】場面緘黙かんもくのある娘について

娘は家や塾では問題なく話すことができます。学校でも問題なかったのですが、小学校3年生になると話せなくなりました。今日は、娘の「場面緘黙かんもく」について相談したいです。

学校では子供たちが話し合っ物事を決めることがありますよね。自分の意見を相手に伝えることは大切で、小学校はまさにそれを経験をする場だと思います。娘は場面緘黙かんもくのため、自分の意見を言うことができませんが、紙に書くことはできます。何かを話し合うときに、紙に意見を書いて出し合うなど声以外で伝える方法を取り入れていただければ、娘にとっても助かると思いますが、いかがお考えでしょうか？